

あいちの印刷

8

2017.8

No.549



碌山美術館（長野県安曇野市）

もくじ

- 巻頭言「忘れていたことは、何か」 3
- 中部地区印刷協議会上期会議(富山県会議)
平成29年度事業計画・基本方針発表 4
- 全印工連
平成29年度事業計画 5
- 中部地区印刷協議会上期会議(富山県会議)
臼田会長挨拶「印刷組合という組織・力を活用」 7
- UVインキ印刷物の取り扱い
古紙リサイクル対応協議会 8
- お知らせ
技能検定試験の変更 9
- 身近な催し物 9
- セミナー3題 10
- クラウドバックアップサービス
「ランサムウェア対策」 12
- わが社のダイバーシティ 13
- 「ポスターグランプリ」と「印刷と私」作品募集 14
- 編集だより 14

人に 社会に 想いを カタチに

O//O 愛知県印刷工業組合

本紙は再生紙を使用しています。

FUJIFILM
Value from Innovation

成長は、「省資源」から。

もっと強く、もっと付加価値の高い印刷ビジネスを実現するために
富士フイルムは提案します—— 成長は、「省資源」から。

材料・工数・水・エネルギー・排出、

これまでの「コスト」を減らし利益に還元。

製版・印刷工程を軸にした、

独自のソリューション「FUJIFILM SUPERIA」が

あなたの会社をどこよりも強いものへ変えていきます。

**FFGSは、戦略的『省資源』で、
トータルコストダウンを支援いたします。**

FUJIFILM
「減らす」がつくる、クオリティ **SUPERIA**

富士フイルム グローバルグラフィックシステムズ株式会社 中部支社 〒460-8404 名古屋市中区栄一丁目12番17号 富士フイルム名古屋ビル 052(201)8171 ホームページ <http://ffgs.fujifilm.co.jp>

RMGT
ともに、世界へ彩りを。

パイオニアとしての実力。

**LED-UV
PRINTING SYSTEM**

RMGTは2008年から、
LED-UV印刷の市場を牽引しています。

RMGTが2008年に世界で初めて発売したLED-UV印刷システム。

省電力の画期的なUV印刷システムとして革新を起こし、

短納期・生産性向上・環境印刷によって、

オフセット印刷の世界を様変わりさせました。

発売から9年が経過した今、LED-UVの先駆者として

蓄積したノウハウと技術力で

RMGTはオフセット印刷に関わる、

お客様の様々な課題に

お応えしています。

RMGT 10 1050LS-5 (菊全判5色印刷機)

リョービMHIグラフィックテクノロジー株式会社

中日本支社 〒468-0034 愛知県名古屋市天白区久方1-145-1 TEL 052-807-1671

<http://www.ryobi-group.co.jp/graphic/>

優れた安全性と作業効率を実現して **ERCシリーズ**誕生。



**ERC
SERIES**



ITOTEC

イトテック株式会社

最新情報はインターネットで www.itotec.co.jp

Photo: eRC115DX

本社 愛知県犬山市舟田10-4 TEL 0568-67-5311 FAX 0568-68-0495 〒484-0912
東京支店 東京都板橋区中台1-31-1 TEL 03-5920-2161 FAX 03-5920-2171 〒174-0064
大阪支店 大阪府市荒本新町3-29 TEL 06-6618-5335 FAX 06-6618-5337 〒577-0022
四国営業所 愛媛県四国中央市新宮町上山3307 TEL 0896-72-2020 FAX 0896-72-2050 〒799-0302

福岡サービスセンター 福岡市東区箱崎ふ頭6-1-6 TEL 092-651-6031 FAX 092-631-1746 〒812-0051
札幌サービスセンター 札幌市中央区北一条西18-1 TEL 011-611-7221 FAX 011-611-7224 〒060-0001
新潟サービスセンター 新潟市横越中央1-11-10 TEL 025-385-2059 FAX 025-385-3701 〒950-0208
仙台サービスセンター 仙台市宮城野区岡田浦通1-132-7 TEL 022-258-1758 FAX 022-258-1793 〒983-0003

巻頭言

「忘れていたことは、何か」

組織・共済委員長 服部 晋 吾

「銀河鉄道の夜」のなかで、「ジョバンニ」が働く活版印刷所を彷彿させる「活版印刷三日月堂」（ほしおさなえ著）。この本に出会い、私たち印刷業界人がしばらく「忘れていたこと」を思い起こさせてくれました。かつて、活版印刷は、活字を紡ぎ、言葉を通して、人の「想い」や人の「温かさ」を伝えてきました。私たちの印刷の使命や原点を長い間、「忘れていた」ように思います。データ上の活字、実態のない活字、デジタル化された印刷関連技術は、目覚ましいスピードで進化を遂げてきました。

この物語は、印刷業界が抱える共通の課題である後継者がなく、祖父母の代で店を閉店。川越の路地裏にたたずむ活版印刷所「三日月堂」は、ふとしたことから28歳の若い孫娘が受け継ぎ、ひっそりと営業を再開して、活字を通して、印刷を通して人とつながる物語。

著者「ほしおさなえ」は執筆する側ですが、私たちの業界をどのように見ているのか？その点も、大変興味深く読みました。ルビは、なぜルビと呼ばれるようになったのか？日本独自の単位、号とはなにか？インクは、なぜインキと呼ばれてきたのか？活字を鑄造し販売する活字屋・・・懐かしい業界の特有な言葉も多く出てきます。現在、私たちの業界のなかで「活版印刷」、「グーテンベルク」を知って

いる人は、どれだけいるのでしょうか？

「銀河鉄道の夜」のなか、「ジョバンニ」の最後の言葉「カンパネルラ、僕たちいっしょに行こうね」。「星たちの葉」は、手キンと呼ばれる活版印刷で一枚一枚刷られ、ひとつひとつの活字は、人々の想いを伝えていく。活版印刷だからかでしょうか？

「活版印刷三日月堂 星たちの葉」に出会い、どのように印刷技術や商品・サービスが変わっても、私たちが「忘れてならないこと」は、人の「想い」を、どのように活字に、そして言葉に、「カタチ」にして伝えていくか！「想い」を伝える使命を、決して忘れないようにしたいと思います。また、この本のなかで、「こうやってあとの人たちの心になにかを残す。印刷には、それを助ける力がある。印刷の仕事をしていて、本当に良かった」と28歳の若さで、小さな活版印刷所「三日月堂」を引き継いだ孫娘の言葉が心に響きました。

私たちの仕事は、多くの人々の役に立ち、「誇り」の持てる業界であると確信しています。

参考＊活版印刷三日月堂 星たちの葉 ポプラ文庫

＊活版印刷三日月堂 海からの手紙 ポプラ文庫

＊著者 ほしおさなえ

TOYO INK

生活文化創造企業

あなたが企業に求めるものは何ですか？私たちはモノ作りの会社として、先端の技術、最高の製品と品質、そしてまた、さまざまな企業活動を通じて、あらゆる人々に“満足”を届け、しあわせな生活のシーンを支えていくことだと考えます。

私たち東洋インキグループは、世界にひろがる「生活文化創造企業」を目指します。

東洋インキ株式会社

中部支社 〒460-0002 名古屋市中区丸の内1-15-20 ie丸の内ビルディング12F Tel:052-218-7460

www.toyoink.co.jp

□中部地区印刷協議会上期会議(富山県会議)



中部地区印刷協議会上期
会議(富山県会議)の会場

平成29年度事業計画・基本方針発表

愛知・岐阜・三重・石川・富山5県から68名が出席

平成29年度中部地区印刷協議会(中部地区協／四橋英児会長、岐阜県印刷工業組合理事長)の上期会議(富山県会議)が6月16日午後1時より富山駅前のオックスカナルパークホテル富山で開催された。当日は全日本印刷工業組合連合会(全印工連)より、臼田真人会長、細井俊男副会長、生井義三専務理事、池田幸寛常務理事の4名と中部5県(愛知・岐阜・三重・石川・富山)の理事長及び役員60名。そして、次の富山県の印刷組合を担う若手8名がオブザーバー参加した。全体会議では、全印工連の平成29年度事業計画を発表。分科会は5つの分科会と理事長会が開催され活発な意見交換が行なわれ、全体会議後半では、それぞれの分科会、理事長会の結果発表、全印工連への質疑などが行なわれた。総合司会は安藤一郎事務局長(愛知県印刷工業組合専務理事)が務めた。

組合活動の柱は連帯・共済・対外窓口

□分科会と理事長会で意見交換

上期会議の冒頭、開催県を代表して楠行博副会長(富山県印刷工業組合理事長)が挨拶に立ち次のように述べた。「4年ぶりの開催である。この4年間で富山県工組の各委員が一新した。特に今回はこれからの富山県を担っていく8人をオブザーバーと呼んでいる。この地区協の雰囲気を感じて今後の参考にさせていただきたい。富山県工組は今新たな状



挨拶する四橋会長



事業計画を説明する生井専務理事

況を迎えている。それは47年経過し老朽化した印刷会館の建設である。皆さんの出資金で建て直す決議をした。出資金であるから組合を辞めるときは戻ってくる。それでも何社かが脱会した。脱会者があったがそれ以上に多くの新入社員が入社してくれたお陰で、賦課金は増えた」と紹介。そして、出資金を集める時のエピソードを披露。「出資金を集めるため組合員の皆さんを訪問した。その一部の方から「組合のメリットは何か、組合会館には行ったこともない」との話になった。どこの工組でもよくある話であるが、これに対し私は、メリットは数字で表すものでもないし、明確に箇条書きで書くものでもない。また、そのメリットを押し付けるものでもないと思っている。経営者一人ひとりが自分なりに感じるものであり、また、感性、哲学、思想といった観点から自分なりに考えるものである。強いていえば経営者の勤めたいなものである。私はそのような経営者の勤めなければ経営はできないと思う。来年の今頃は新しい会館が出来上がっている。そのときは富山県の役員構成も変わっている。新しい富山県印刷工業組合に支援、指導をお願いします」と結んだ。

続いて、四橋会長が挨拶に立ち、「政治と経済は正に車の両輪である。今まで我々が努力してもできないことがたくさん

あった。ところが今、臼田会長のお陰で中小印刷産業振興議員連盟（議連）ができた。今まで出来なかったことがこれから実現する可能性がある。やはりロビー活動は非常に大事である。今の日本ではJAが一番力を持っており、その次が医師会である。全印工連も頑張っていたが、政治力も身につけていろいろ行なっていただきたい」と述べた。

次いで、臼田全印工連会長が挨拶に立ち、「環境変化の中で、我々は今後より一層、各企業の財政基盤、経営基盤などの強化、さらには、優位性、独自性、競争力の強化、サービスの必要性などを実行していかないと、確実に選ばれない企業になってしまう」と警鐘を鳴らした。（臼田会長の挨拶は別項参照）。

全体会議前半では、四橋会長を議長に議案審議に入り、「平成28年度収支決算」、「平成29年度予算（案）」が上程され、原案通り承認された。次いで、生井専務理事から「全印工連・平成29年度事業概要」の説明が行われた（別項に詳報）。

休憩を挟んで分科会、理事長会が開催された。分科会は、①経営革新・マーケティング分科会、②環境・労務分科会、③組織・共済分科会、④教育・研修分科会、⑤取引公正化分科会の5つの分科会と理事長会に分かれて行われた。

全体会議後半では分科会、理事長会での討議内容の報告が行われた。報告者は経営革新・マーケティング分科会／出村明委員長（石川県・副理事長）、環境・労務分科会／土井弘人委員長（三重県・副理事長）、組織・共済分科会／岩瀬清委員長（愛知県・副理事長）、教育・研修分科会／大洞正和（岐阜県・副理事長）、取引公正化分科会／飴徹委員長（富山県・副理事長）、理事長会／水谷勝也（三重県・理事長）の各氏。

分科会報告終了後、山田慎二氏（愛印工組理事・全印工連CSR推進委員）よりCSR事業の告知、質疑応答と続き、鳥原久資副会長（愛印工組副理事長）からMUD検定の告知、そして、閉会の辞を鳥原副会長が行ない中部地区協上期会議（富山県会議）が終了した。

【愛印工組からの出席者】

細井俊男理事長、鳥原久資、松岡祐司、酒井良輔、木村吉伸、岩瀬清の各副理事長、山田慎二、久野彰彦、堀裕史、富田章裕、会度尚志の各理事、鈴木裕一名古屋而立会、安藤一郎専務理事、勝野みゆき事務局次長

■全印工連・平成29年度事業計画

「夢のある産業」の実現に向け、組合事業を推進

■基本方針

「志あふれる印刷産業へ、期待される価値を求めて」

全日本印刷工業組合連合会は、「志あふれる印刷産業へ、期待される価値を求めて」というテーマのもと、ぶれずに、「印刷産業のより一層の存在価値を高める」ための諸事業に力強く邁進していく。特に、本年度は印刷産業としての対外広報・発信力強化ならびに各工組・組合員間のより円滑な情報伝達を目指した広報戦略の研究・立案とともに情報格差を是正するための遠隔教育システムの試行により積極的なコンテンツの提供を進める。官公需対策をはじめとした様々な政策要望については、全日本印刷産業政治連盟および自由民主党中小印刷産業振興議員連盟とこれまで以上に強固な連携で課題解決を図っていく。また、「全印工連2025計画」の着実な実践に向けた普及・啓発活動に努めるとともに、印刷関連業界全体の向上・発展に向けた研究を引き続き行なうなど、日本を代表する産業としての自覚の下、その役割をしっかりと果たし、印刷産業の更なる地位向上を目指していく。

本年度も各工組並びに組合員との連携を通じ、組合全体の英知を結集させ、印刷産業の持続的な発展と社会生活を創造する「夢のある産業」の実現に向け、さらに上を目指した組合事業を推進していく。

■経営革新マーケティング委員会

業界発展へ向けての新陳代謝の促進を目的とする事業承継支援を推進するため、企業価値の算定・向上の研究と併せ、具体的支援のためのセミナーの開催、さらにはガイドブック制

作に着手する。また、経営イノベーションの支援を目的に、ソリューション・プロバイダーへのステップアップセミナーを開催し、「共創ネットワーク通信」のコンテンツをさらに充実させ、専用Webサイトの機能強化を図り、活用価値の高いシステムへと進化させる。なお、昨年度に引き続き、クライアント事例や先進的なマーケティング事例等のセミナーを開催してマーケティングに関する情報発信を行ない、各地のソリューション事例の情報収集と発信にも取り組む。

■環境労務委員会

印刷業は環境負荷が大きい業種であり、環境意識をより高く持つことが大切である。環境労務委員会では、印刷会社の環境対応の改善や労務管理を支援するため、法令の周知及び関連情報の収集・提供を進める他、セミナーの企画及び開催、「グリーンプリンティング（GP）認定制度」の普及拡大、インターネットを活用したISO14001取得支援事業「環境経営印刷ネットワーク」の周知を行なう。また、GP認定の前段階として全印工連が運営する認定制度「環境推進工場登録」について、登録に向けた支援を積極的に進めるとともに、GP認定取得および日印産連「印刷産業環境優良工場表彰」へのステップアップを促進する。労務対策では、労働関連法令・労働安全衛生法の改正情報の提供により、適切な労務管理と従業員の健康障害防止を図る。

■組織共済委員会

組織関連情報の収集・提供を行ない、組合機能の組織強化に努めていく。併せて、生命共済、医療・がん共済及び総合設

グリーンプリンティング(GP)工場認定 第45回認定募集／8月中旬締め切り

日本印刷産業連合会「グリーンプリンティング(GP)工場認定制度」における第45回認定募集が行なわれている。8月中旬が締め切りになる。GP認定工場は、日産連グリーン基準(工程及び事業者の取り組み)を達成した工場に対し、客観的評価による認定を行ない、環境優良工場としてクライアントなど社会に対し、幅広くPRすることができる。

2017年6月現在、GP認定371工場(そのうち全印工連は205工場)。

備共済を中心とした各共済制度の積極的な加入促進を行なう。その他、全日本印刷産業政治連盟と連携しながら、政策的課題への対応を図っていく。

■教育研修委員会

教育研修委員会では、新たなセミナーの企画・啓発を行ない、制度教育事業では今年度より内容を改めた印刷営業講座および印刷営業士認定試験を実施するとともに、他の2つの講座・試験の見直しに着手する。また、技能検定「製版職種(DTP作業)」は昨年度の実施状況を調査し、円滑な技能検定運営の更なる検討を行うことにより実施工組および受検者数の増加に努める。そして遠隔教育システムでは上記セミナー・講座について配信方法の検討・準備を進める。

■産業戦略デザイン室の事業計画

印刷産業としての対外広報・発信力強化ならびに各工組、組合員とのより円滑な情報伝達を目指し、広報戦略を立案し推進する。また、「全印工連2025計画」に沿った業界振興施策の推進について各委員会と連携し、計画の普及・啓発に取り組む。併せて、印刷産業の事業領域拡大に伴う積算基準と積算体系の研究・確立、また印刷業経営動向実態調査の実施、海外の印刷トレンドの調査・研究等を通じ、成長戦略に関わる振興施策の研究を行なう。

■印刷産業連携推進室の事業計画

印刷関連業界と一層の相互理解の促進を図り、印刷関連産業全体の発展、向上を目的とした研究活動ならびに情報交流の活性化に努める。また、各委員会とも連携し、積極的な事業支援に努めていく。

■ダイバーシティ推進委員会の事業計画

2020年の東京オリンピック・パラリンピックに向け、ダイバーシティへの取り組みの社会的要請は高まりを見せている。中小印刷業界においても、ダイバーシティ・マネジメントを推進していくためには、多様な人材の活用を図っていくことが必要である。今年度は、柔軟な働き方を進めていくことにより、育児・子育て・介護をやすくし、復職率を向上させること、時短勤務・在宅勤務の活用で労働力の質・量を高めること、この2つの施策の普及・啓発に取り組む。

■CSR推進委員会の事業計画

CSRは、企業が社会から信頼され魅力ある会社となるための企業戦略・成長戦略であり、地域密着型の中小印刷業においては優秀な人材の確保や企業ブランドの確立、顧客や金融機関による企業評価の向上などにつながり、持続可能な経営に寄与する。

■官公需対策協議会の事業計画

□官公需アンケートの実施／各県工組の改善運動の一助を目的として、平成28年度の取り組み状況及び29年度の取り組み予定について、各県工組を対象にアンケートを実施し、集約結果を官公需情報として情報提供に努める。□中小企業に関する国等の契約の基本方針に関する説明会の実施／中小企業に関する国等の契約の基本方針に関する説明会を平成29年度下期後半に実施していく予定。

■資材対策委員会の事業計画

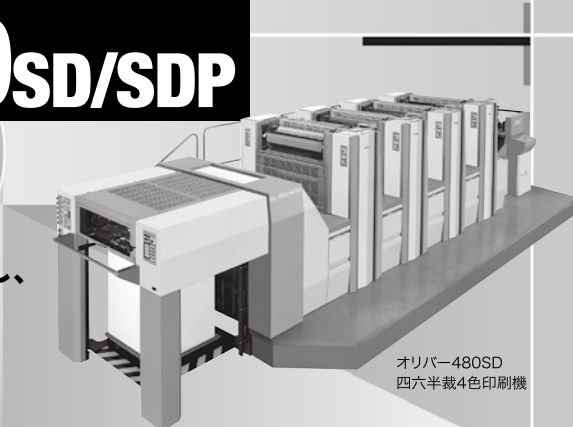
用紙価格等動向調査の実施などを通じ、印刷関連資機材の動向を把握し、有益な情報提供に努める。併せて、関係団体との緊密な連携を図り、各種対策の協議ならびに啓発活動を行なう。

四六半裁

OLIVER 480SD/SDP

LED-UV搭載

究極まで追求した
最新テクノロジーを随所に採用し、
更なる高品質・高生産性を実現。



オリバー480SD
四六半裁4色印刷機

大好評! オリバーSD/SDPシリーズ

菊半裁・四六半裁・菊全判の3機種

最高の製品をお届けすることで、
お客様の満足をお約束します

Sakurai
株式会社 桜井グラフィックシステムズ
<http://www.sakurai-gs.co.jp>

本社
〒135-0032 東京都江東区福住2-2-9
TEL.(03)3643-1131(代) FAX.(03)3643-1138

中部営業所
〒501-3733 岐阜県美濃市3951
TEL.(0575)35-2551(代) FAX.(0575)35-2881

大阪営業所
〒532-0012 大阪府淀川区木川東3-1-31
TEL.(06)6308-6651(代) FAX.(06)6308-6679

九州営業所
〒810-0001 福岡市中央区天神5-5-8
TEL.(092)741-2672(代) FAX.(092)741-2670

岐阜工場
〒501-3733 岐阜県美濃市3951
TEL.(0575)33-1260(代) FAX.(0575)33-3146


ISO 9001:14001認証取得
生産技術本部

印刷組合という組織・力を活用 そのための`対話と対比、が重要

全日本印刷工業組合連合会 白田真人会長



□対話と対比

私どもの経営環境はものすごいスピードで変革が進んでいる。今の大学生、高校生が私と同じぐらいの年齢になる20年から30年後には、IoTやAIが活用され、今ある職業の半分から7割はなくなるともいわれている。20年という先のようには聞こえるがすぐに来る。20年後にそうした状況が突然くるのではなく、これから加速度を増してやってくる。

こうした環境が変わる中で、我々は今後より一層、各企業の財政基盤、経営基盤の強化、さらには優位性、独自性、競争力の強化などをしないと、確実に選ばれない企業になってくる。さらに、技術力、技術革新、サービスが必要になる。また、人口減少に伴う働き改革による様々な働き方、多様化した働き方に対して、中、小規模事業者であっても社内の労働環境を整備する必要がある。我々が今後、5年、10年、20年と、企業を経営していく中で、やらなくてはならない課題がたくさんある。これを一つひとつ、各企業がしっかりと制御していかないと確実に生き残れない時代である。

組合の今のメリット、そして今後のメリットは何か、はっきり申し上げると`対話と対比、である。何故かという、自分の立ち位置そして情報をどこから仕入れるかである。一社では到底得られない情報、一社では到底進めない課題、一社では到底解決できない様々な社会問題・環境対応、そういったものを印刷組合という組織、力に求めることにより、また、皆さんがこの機にさらに結束を固めることで、課題を数の力で解決する。それも烏合の衆での数の力ではなく、常に目的やこれからの経営者としての志を共にした本当に力強い仲間の結束によって、様々な課題を解決していく。これが今、そしてこれから先、組合に求められている大切な存在意義であり、各組合員の皆さん一人ひとりが具体的に手に入れるメリットだと私は確信している。

そうした中で、29年度においても対外広報の必要性を上げる。私ども印刷業界はイメージ的に低すぎる。2025計画の冒頭にも書いてあるが、我々の持っている印刷業界のポテンシャル、社会的な立ち位置、事業者数、従業員者数など、製造業としてほとんどの県で上位3位に入っている。それだけ我が国の基幹産業なのである。さらにいえば我々の今、新たな顧客接点を持ち、社会から必要とされている企業は、紙にインキをのせるという従来ながらの印刷の専業だけではなく、

業容をさらにフロントしさらにその先までも繋げる。それはすでに10年も20年も前から始まっていることである。我々の印刷産業は、昔3K産業と自分たちで自虐的に話をしてきた。しかし今は、インテリジェンス産業に移りつつある。そうした自分たちの持っている姿を対外的にアピールする。そして、日本の製造業の中の基幹産業であることを、しっかりと国、各自治体に伝える。我々の存在価値を高めることで、新たな市場にリーチインしていく。そのようなことを各地の工組でも具現化させていただきたい。

□連帯・共済・対外が活動の柱

官公需対策の改善については、全日本印刷産業の政治連盟である中小印刷産業振興議員連盟に負うところが大きい。この連盟には、自由民主党の衆参両議員120名の先生方が参加している。我々の持っている大きな課題が動こうとしており、これは全印工連4,750社の力があるがゆえである。先生方が動いて7月に予定されている平成29年度4月以降の各自治体に向けた国などによる「中小企業者に関する国等の契約の基本方針」の中に閣議決定された内容が盛り込まれる。その中に長年の懸案である最低価格制限制度、予定価格を積算する根拠、地元企業への優先発注、知的財産権の適切な取り扱いなどを盛り込んでいただく方向で進んでいる。

組合は間違いなく連帯であり、皆さまとともにフェイスツーフェイスでいつでも語り合う、そして我々自身も立ち位置を確認できる場である。共済に至っては数をもってして選べるメリットがある。例えば、生命保険があるしアドビのライセンスプログラムもある。対外関連では、皆さんの声をしっかりと力に変え、我々の中小産業振興策を具現化させていく。連帯、共済、そして対外窓口、この3つを時代に合わせ機能させることが、今の組合活動の柱と思っている。ただし、これを進めていくのは、私たちだけでは上手く循環させることはできない。各県工組の組合員の皆さん一人ひとりが、我々がやろうとしている事業内容などをできる限り理解していただき、共に力を合わせて一つになって、大きな課題、大きな岩を動かす、今そういう状況になってきていると思う。

□UVインキ印刷物の取り扱い 古紙リサイクル対応協議会

(日本印刷産業連合会／古紙再生促進センター／印刷インキ工業連合会)

UVインキ印刷物の損紙・ 裁落の分別排出について

印刷用紙の品質低下を解消

UVインキ印刷物分別管理

古紙リサイクル対応協議会（(社)日本印刷産業連合会／(公)古紙再生促進センター／印刷インキ工業連合会）では、UVインキ印刷物の損紙・裁落分別の協力を呼び掛けている。

近年、パンフレットやカタログなどの商業印刷物にUVインキを使用するケースが増加している。印刷工場、製本工場、光沢加工工場等から排出されるUVインキ印刷物の損紙・裁落が古紙に混入することで、それを原料とした印刷用紙の品質低下が問題となっていることから、紙リサイクル推進のため、図のような分別方法による排出を促している。

リサイクル対応型UVインキの確認方法

①日本印刷産業連合会ホームページ「リサイクル対応型印刷資材の製品情報」で検索。

②UVインキ容器にエコマークが表示されているもの。

③UVインキ容器にインキグリーンマークの星二つ

以上が表示されているもの。



インキグリーンマーク

リサイクル対応型UVインキ

従来のUVインキに対して、各インキメーカーが各種UV印刷機に対応したリサイクル対応型UVインキを開発している。リサイクル対応型UVインキには、省エネルギー対応型UVシステムに対応した高感度UVインキもある。

リサイクル対応型UVインキを使用する際には、対応した印刷機及び適正なUV照射ランプ数、UV照射量（時間）で印刷することで、上質系古紙（薄紙）としてリサイクルできる。リサイクル対応型UVインキ印刷物の損紙・裁落は、従来のUVインキ印刷物の損紙・裁落と分別して排出する。ただし、リサイクル対応型である高感度UVインキであっても、従来のUV印刷機にかけるとUV照射を過剰に行なうと硬化が進み、リサイクルを阻害してしまう。また、試し刷りなど複数回印刷機にかけた場合も同様にリサイクルを阻害することになる。これらの硬化し過ぎたリサイクル対応型UVインキ印刷物の損紙・裁落は、従来のUVインキ印刷物と同様に雑誌古紙として排出しない。

リサイクル対応型UVインキの開発について

日本印刷産業連合会及び古紙再生促進センターでは、古紙利用率の向上に寄与するため紙分野での製紙原料となるよう、リサイクル性の良い印刷資材の開発及び印刷物の普及に努めている。UVインキは、紫外線の照射により瞬間的に硬化し乾燥するインキであるが、皮膜が高密度で非常に強固な

ため、古紙のリサイクル工程でインキ皮膜が細かく分離・分散されず、除去しにくいという課題があった。そこでリサイクル対応型UVインキが開発された。リサイクル対応型UVインキには、従来のものを改良したものと、省エネ型UVインキ（LED型、高感度型）がある。

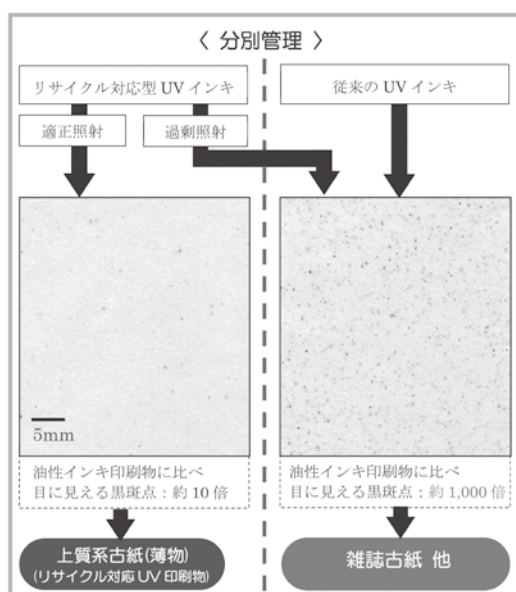
今後は、環境対応を考えた場合、リサイクル適正とエネルギー対策を兼ね備えた省エネ型UVインキの普及が望ましいといえる。

UVインキ印刷物の分別

従来のUVインキ印刷物を古紙そして再生した印刷用紙は、目に見える黒斑点（ダート）が油性インキの約1,000倍も残っていた。これが上質系古紙に混入すると、製紙工場のトラブルの原因となっていた。一方、適正なUV照射で印刷したリサイクル対応型UVインキ印刷物を古紙として再生した印刷用紙は、目に見える黒斑点は従来のUVインキの100分の1程度に抑えることができるようになった。

従来のUVインキ印刷物は、他の油性インキの印刷物と混在せず、雑誌古紙として排出すること。リサイクル対応型UVインキ印刷物は、上質系古紙（薄物）としてリサイクルできる。ただし、リサイクル対応型UVインキでも過剰に照射したり、複数回印刷した場合は、リサイクル適正が低下するため雑誌古紙として排出する。

UVインキ印刷物の損紙・裁落の分別



■お知らせ

技能検定試験の変更

本人確認の書類提出が必須となり
35歳未満の方の2級受検手数料は
9,000円減額

技能検定における平成29年度後期試験から、一部変更点が明らかにされましたのでお知らせします。

(1) 本人確認のための書類提出について

受検料減免制度の導入を機として、技能検定受検申請受付時に減免の有無に関係なく、本人確認書類として、受検申請者全員の運転免許証、保険証などの写しなどを提出することが必要となりました。

(2) 技能検定受検手数料の減免について

平成29年度後期から35歳未満の者に係る2級及び3級(随時実施を除く)の実技試験では、9,000円が減額されます。その内容は以下のとおりです。

①減免措置の対象者(以下に掲げる要件を全て満たす場合に限る)＝技能検定の2級又は3級の実技試験を受検する者／35歳未満の者(実技試験実施日が属する年度の4月1日において35歳に達していない者など)。

②減免措置の開始時期＝平成29年度後期より導入。

③減免措置後の実技試験受検手数料(35歳未満の者)＝特級・1級及び単一等級に於ける減免措置はない。2級及び3級に於ける減免措置は以下のとおり。

◎2級一般：現行17,900円が8,900円に。◎2級在校生：現行17,900円が8,900円に。◎3級一般：現行17,900円が8,900円に。◎3級在校生：現行11,900円が2,900円に。

◎愛印工組で行なう技能検定／前期：印刷職種オフセット印刷作業1級、2級。後期：製版職種DTP作業1級、2級。

□技能検定試験について

技能検定は、働く人たちの技術や知識を一定の基準により検定し、これを公認する国家検定制度。働く人たちの技能と地位の向上を図ることを目的に、職業能力開発促進法に基づき実施されています。技能検定は、特級・1級・2級・3級に区分するものと、等級を区分しない単一等級があります。等級別、

●身近な催し物のお知らせ(愛印工組関係)

H29年8月10日以降の事業

開催日時	事業・行事、場所、備考
9月3日 日曜日	事業名 従業員・家族合同レクリエーション大会(日帰りバス旅行) 場 所 滋賀県・近江八幡方面(BBQとブルーメの丘・ラ コリーナ近江八幡) 参 加 費 大人(中学生以上)@6,000円、小学生@4,000円 小学生以下@1,000円(他、乳幼児は無料の予定) 定 員 200名
9月4日 月曜日 13時30分～ 15時30分	事業名 J P P S 認定「更新講習会」 場 所 メディアージュ愛知3階会議室 講 師 金子一美氏 (SME Support 代表) 参 加 費 1社2名まで 32,400円、ほか1名追加ごとに5,400円 参 加 対 象 平成27年度にJ P P S 認定を取得した企業 備 考 ※新規取得事業は参加希望少数につき実施を見送ります。
9月8日 金曜日 13時～17時	事業名 環境推進工場登録企業「更新講習会」 場 所 メディアージュ愛知3階会議室 講 師 寺田勝昭氏 (P & E マネジメント 代表) 参 加 費 1社1名まで 59,400円、ほか1名追加ごとに6,480円 参 加 対 象 平成27年度に環境推進工場登録をした企業 備 考 ※新規取得事業は参加希望少数につき実施を見送ります。
9月9日 土曜日 12時50分～ 16時 (予定)	事業名 断裁機取扱者特別教育【実技講習】 場 所 名古屋紙商事 小牧配送センター (西春日井郡豊山町) 参 加 費 組合員@8,640円、組合員以外@16,200円(テキスト代 別途) 定 員 10名 申 込 期 定員に達し次第締切です
9月21日 木曜日 19時～ 20時30分	事業名 経営セミナー「ビジネスで役立つウソや人間心理の見抜き方」 講 師 森 透氏 (株式会社クラウド 代表取締役) 場 所 ウィンクあいち 901会議室 参 加 費 組合員：@3,500円、一般：@4,500円 定 員 150名
10月17日 火曜日 18時30分～ 20時30分	事業名 第2回マーケティングセミナー 何をしたらいいのかわからない「営業」集まれ!! 講 師 林 隆氏 (ブルデンシャル生命保険㈱ 部長) 場 所 ウィンクあいち 1101会議室 参 加 費 組合員：一人目@3,000円、二人目@2,000円 一般：@4,000円 定 員 100名(定員に達し次第締め切り)

職種(作業)別に実技・学科試験を行ない、合格者には特級、1級、単一等級は厚生労働大臣名、2級、3級は愛知県知事名の合格証書が交付され、技能士と称することができます。

技能検定試験は前期職種と後期職種に分かれ、前期に「印刷」のオフセット印刷作業1級、2級があり、後期に「製版」のDTP作業1級、2級があります。ちなみに実施日程ですが、「印刷」はすでに受付が終了していますので、後期職種の「製版」の日程を紹介します。

◎実施公示：平成29年9月1日(金)から。

◎受検申請の受付：同10月2日(月)から13日(金)まで。

◎実技試験問題公表：同11月27日(月)。

◎実技試験：同12月4日(月)から平成30年2月18日(日)まで。

◎学科試験：平成30年2月4日(日)。

◎合格発表：平成30年3月16日(金)。

盛功社の創業は1889年。2016年に128周年を迎えました。
3世紀にわたるご愛顧をいずえとして
新たな未来へ羽ばたきます。



●印刷機械 ●製版機械 ●製本機械
●DTP関連機 ●印刷諸材料

株式会社 盛功社
〒461-0014 名古屋市東区榎木町3丁目17番地
TEL 052-932-5611 FAX 052-931-0280
http://seikosha-net.jp/

特色データ管理システム(13000色以上)を構築し
特色印刷No.1を目指しています

薄紙加工機6台に加え、最新大型薄紙加工機を名古屋工場に導入!
さらにUVインクジェット印刷で、小ロット名入れ印刷も可能!



印刷ステーション
株式会社 太急
〒460-0007 名古屋市中区新栄1-14-21
TEL 052-262-0555 FAX 052-262-1043
関連会社/ ㈱太急・(株)山川

OFFSET PRINTING

組合印刷

UVインクジェット印刷

薄紙加工機への対応と名入れ印刷

POST CARD・ENVELOPE

名刺・はがき・封筒・封筒裏面・インデックス

SEAL・薄紙加工

シール印刷・薄紙印刷加工



セミナー3題

□愛印工組／マーケティング委員会

「食を通して人を良くする 『五方よし』の経営」

売上高100億、経常利益率5%を目指す

愛印工組マーケティング委員会では、本年度最初となるセミナー「心を動かす感動マーケティング戦略セミナー」を、6月7日ウイंक愛知（愛知県産業労働センター）で開催した。当日は㈱渥美フーズ社長の渡会一仁氏を講師に迎え、「食を通して人を良くする『五方よし』の経営」と題して、同社の理念、戦略などが紹介された。セミナーの冒頭挨拶に立ったマーケティング委員会久野彰彦委員長は、「私たち印刷業界は厳しい業界であるが、スーパーも大変厳しいと聞いている。そうした中で活躍しているのが渡会社長率いる渥美フーズである。業界は違うが商品戦略、ターゲット設定、マーケット戦略など、いろいろ考え実行されており、それが結果に結びついている。これは印刷業界にも合い通じるところがある。是非、今日の話を日々の営業、経営に役立てていただきたい」と述べた。参加者は90名。

□「食で健康になりたい方」をターゲットに！

講師を務めた渡会社長は、同社の沿革、理念、戦略、これからのビジョンなどを紹介。「7年前に3代目の社長に就任。社員とともに食や地球環境について勉強しながら、子供たちが安心して暮らせる持続可能な社会の実現を夢に、安心・安全な食の提供、情報発信に取り組んでいる」と前置きし次のように述べた。

「入社した当時は、周りのスーパーとどんぐりの背比べで、ライバルが行っているからということで、週3回の折り込みチラシ、均一セール、タイムサービスを行ってきた。そうした中、先代社長から『店舗を新しい時代の店舗に改装する。との命を受けて取り組んだ。外観をリニューアルし、チラシを止める、安売りはしない、商品の鮮度と味でお客様を呼ぶ。『心と味でおもてなし』をコンセプトに、安心・安全で、美味しく鮮度が良く、しかも作り立てを前面に、お客さんがまた行きたくなる。そんなサービスを目標に挑んだ。しかし現実実はそんなに甘くなく連続の売上減を経験。ところが商品の



挨拶をする久野委員長



講師の渡会一仁氏

良さが徐々に浸透し、改装前の7億円から12億円と売上・粗利率が向上した」と披露。

同社の理念は「食を通して、人を良く（幸せに）する」であり、顧客戦略ではターゲットを「食で健康になりたい方」としており、健康によくない商品は売らない、置かないを徹底している。そのために、月1回の食の勉強会をし、お客さんに商品のよさ、食の情報をしっかり伝えられるようにしている。また、店舗の上にある会議スペースは、お客さんに無料で開放し、料理教室、食品勉強会など、お客さんを巻き込んだ活動を行なっている。渡会社長は、事業が上手くいったのは、「自分たちの良さをコツコツ行ってきたお陰だ」としている。

同社には「ビジョン2022」が掲げられている。そこには、「Enjoy Natural&Healthy Lifeをテーマに、フードオアシス、オアシスファーム、あつみ食堂の3事業を柱として、売上高100億円、経常利益率5%を目指す」としている。

最後に、印刷業界へ一言として、「①その道のプロフェッショナルを目指す（業界特化型専門サービス）、②伝える力を極める（紙からスマホまでのワンストップサービス）、③コラボレーションで新市場開拓（フリーネットワークサービス）」の3点を挙げ、「こうしたことに取り組んでいる印刷会社とお付き合いをしていきたい」と結んだ。

□愛印工組／CSR・ダイバーシティ委員会

働き方改革に対応するために

「働き方改革実行計画勉強会」

愛印工組CSR・ダイバーシティ委員会は、6月28日メディアージュ愛知3階会議室において、「働き方改革実行計画勉強会」を開催した。当日は全日本印刷工業組合連合会（全印工連）ダイバーシティ推進委員会所属の㈱GIMS・特定社会保険労務士の小倉絵里氏を講師に招いた。

勉強会の冒頭、挨拶に立った全印工連ダイバーシティ推進委員会近藤起久子委員は、「私は、全印工連のダイバーシティ推進委員会に出向しており、この委員会では、本日講師を務めていただく小倉先生による働き方改革に関するセミナーをお聞きした。先生は全印工連のダイバーシティ推進委員会でも活動されている。働き方改革は企業にとって大事な取り組みになる。分かりやすく解説していただけたと思うので、しっかり勉強していただきたい」と述べた。

□働き方改革案／事業主行動計画の概要

小倉講師は、「労働基準法70年の歴史の中で歴史的な大改革であり、労働界と産業界が合意できたことは画期的である。いまこそ政労使が必ずやり遂げるという強い意志を持って法制化に取り組んでいかなければならない」としている。

その中の最も重要視される点を上げた。

①非正規雇用の処遇の改善＝同一労働同一賃金の導入は、仕事ぶりや能力が適正に評価され、意欲をもって働けるよう、同一企業・団体におけるいわゆる正規雇用労働者（無期雇用フルタイム労働者）と非正規雇用労働者（有期雇用労働者、パートタイム労働者、派遣労働者）の間の不合理な待遇差の



挨拶をする近藤起久子委員



講師の小倉絵里社会保険労務士

解消を目指す。

②賃金引上げと労働生産性向上＝最低賃金については、年率3%程度を目途として、名目GDP成長率にも配慮しつつ引き上げていく。これにより、全国加重平均が1,000円になることを目指す。このような最低賃金の引き上げに向けて、中小企業、小規模事業者の生産性向上等のための支援や取引条件の改善を図る。

③長時間労働の是正＝週40時間を超えて労働可能となる時間外労働の限度を、原則として月45時間、かつ、年360時間とする。特例として、臨時的な特別の事情がある場合として、労使が合意して労使協定を結ぶ場合においても、上回ることができない時間外労働時間を年720時間とする。かつ、年720時間以内において、一時的に事務量が増加する場合に最低限上回ることのできない上限として、2か月、3か月、4か月、5か月、6か月の平均で、いずれにおいても休日労働を含んで80時間以内。単月では、休日労働を含んで100時間未満。原則を上回る特例の適用は年6回が上限。

この①～③以外にも④柔軟な働き方がしやすい環境整備、⑤病気の治療・子育て・介護などと仕事の両立、障がい者就労の推進、⑥外国人材の受け入れ、⑦女性・若者が活躍しやすい環境整備、⑧雇用吸収力の高い産業への転職・再就職支援、人材育成、格差を固定化させない教育の充実、⑨高齢者の就業促進が検討テーマとして上げられている。

一般事業主行動計画を策定することのメリットについて、「企業イメージアップと求人に有利」が挙げられた。また、自社の女性の活躍に関する「数値目標」の達成に向けた行動計画を策定し、それを達成した事業主に助成金が支給される。さらに、女性の活躍に対する状況が優良な企業は、「えるぼし認定」の取得ができ、公共調達も有利になる。

働き方改革を実現するポイントは次のことがある。

「①業務分析と業務遂行方法の見直し＝2時間の時間外労働で従業員の業務効果はどうか。②時間外労働の多い従業員のパフォーマンスはどうか＝時間外労働が多い場合、時間内の業務遂行能力はどうか。③抜本的な業務改善には新たな人事考課制度が必須といわれている＝目標管理制度等を導入してみると、会社の方向性と合わない目標を掲げてしまう従業員はいませんか。その業務に時間外労働が発生していませんか。必要のない業務を創設している管理職はいませんか」。

小倉講師は最後に、「今回の働き方改革における法改正に対応するために、企業は業務の抜本的な改革と労働者活用の見直しを迫られている。より早い段階で対策を講じていくことがビジネスチャンスにつながる」と結んだ。

□愛印工組

MUDセミナー

～CSR活動と顧客満足の実現の一助として～

愛印工組では、6月23日リコージャパン(株)名古屋事業所において、「MUDセミナー～CSR活動と顧客満足の実現の一助として～」を開催した。講師には鳥原久資MUD協会理事(愛印工組副理事長、(株)マルワ社長)が務めた。鳥原講師の講演からポイントをピックアップしてみた。

■誰もが安心して利用することができる施設や製品など、全ての人のためのデザインがメディア・ユニバーサルデザイン(MUD)になる。■文字や色を専門に取り扱う印刷業界は、その使い方に配慮や工夫を加え、読みやすく、見やすく、使いやすい印刷物の提供に心掛ける。■MUDでは、情報受信にハンディキャップのある高齢者・弱視者、肢体不自由者、色覚障がい者、子供・外国人など、障がい者別のメディアにおける配慮が必要になる。■MUDの実践には、特別な設備や技術は必要ないが、5原則を理解し、情報の入手を妨げる要因を取り除き、多くの人に伝わるよう工夫する。■情報の87%は視覚メディアから得ている。しかし、見づらい、分かりづらいなどの不満が多い。日常生活に重要な情報を誰もが適切に受け取れるよう、印刷物にもUDを取り入れたい。■UDを採用する企業が増加し、業界を超えた取り組みが活発化している。その狙いは、競争力優位の確立とCSRの視点からである。

今回開かれたMUDセミナーは、8月5日に行なわれる「MUD教育検定3級」のプレセミナーとして実施された。このMUD教育検定制度は、昨年、3級検定は東京・大阪・名古屋で計9回開催、2級検定は東京・名古屋・福島で計4回開催された。現在、3級合格者約3,100名、2級合格者約120名いる。また、愛知県もユニバーサルデザインのガイドライン策定に着手しており、障害者差別解消法の施行などと共に、メディア・ユニバーサルに対する考えがますます必要とされてきている。



鳥原久資講師

**240線から280線の高画質高精細
カラー印刷を標準稼働中!!
価格は175線と同額です**

データから印刷・製本・発送まで
自社一貫体制でお引き受けします

大日印刷株式会社

☎0564-62-8461(代)
FAX 0564-62-8463

大日印刷

検索

■大切なデータを失う原因は、[PCの故障]や[災害]ではありません。
身代金要求型プログラム「ランサムウェア」が急増中

ランサムウェア対策に 「クラウドバックアップサービス」のお奨め

「地震、火災、盗難、事故など、万が一の場合にデータを守る準備はできていますか？」とのキャッチフレーズで、全日本印刷工業組合連合会では「クラウドバックアップサービス」の提供を始めている。当初は、上記などのトラブル対策として奨められていた。ところが最近では、世界のみならず日本でも被害が見受けられるようになった、身代金要求型不正プログラム「ランサムウェア」が増加している。全印工連ではその注意喚起を呼び掛けている。

このランサムウェアとは何なのか？感染したパソコンのファイルを暗号化して開けなくし、元に戻すことの引き換えに「身代金」を要求するという不正プログラムになる。世界的に増加傾向にあり、日本でも例外ではなく、情報処理機構に寄せられたランサムウェアに関する相談は急増しており、相談件数の内、実際に被害があったという相談は実に88%を占めている。

対策としては、感染を未然に防ぐためのウイルス対策ソフトの導入が重要であるとされているが、それでも完全に防ぐことはできない。万が一感染してしまった時の最後の砦は、データのバックアップになる。ところが、ハードディスクやサーバーへのバックアップでは、バックアップ先のデータもランサムウェアに侵される恐れがある。

有効なバックアップとは、「①複数の世代をバックアップ：感染前の状態にデータを戻せる、複数世代バックアップが有効。②ファイルを圧縮・暗号化して保存：ランサムウェアごと圧縮・暗号化してバックアップ先でランサムウェアを活動させない」などを挙げる。その上で、ランサムウェア対策の最善策として、「全印工連クラウドバックアップサービス」の利用を挙げる。

■クラウドバックアップの特色

①クラウドバックアップなら手間がかからない自動バックアップ。メディアの劣化もない。②クラウドバックアップ



なら日本国内のデータセンター 2か所にバックアップされるので安心。世代の保存も容量の許す限り無制限で行なえるので、削除してしまったファイル、上書きしてしまったファイルも復元できる。③クラウドバックアップなら一度の設定で、日々自動的に遠隔地にバックアップされるので、手間もかからないし紛失や物理的破損のリスクもない。セキュリティに関しても、データはソフトウェア上と通信経路上で二重に暗号化が行なわれるので非常に安全。④クラウドバックアップならサーバーやPCが壊れてしまっても、新しいPCへ簡単にデータを復元することができる。

■クラウドバックアップサービスの料金設定

◎初期費用：19,800円＋消費税

◎月額利用料：＜容量 1 TB＞ 利用台数1台、月額利用料 19,800円＋消費量。＜容量500GB＞ 利用台数1台、月額利用料9,900円＋消費税

◎容量追加：500GBごと月額利用料加算9,900円＋消費税

利用台数は、1契約で1アカウント発行。1アカウントにつき1台のPC(サーバー含む)をバックアップ可能。利用台数を増やす場合アカウントの追加が必要。追加アカウントごとに別途1台につき月額1,000円＋税の追加費用が発生。

■実際に使って試すことができる

14日間のトライアルを無料で用意。希望の向きは下記Webサイトより申し込む。<http://www.d-transdk.com/freetrial/>



コニカミノルタに全てお任せください。

Giving Shape to Ideas



Fallbard AQUA®



BLUE EARTH®



bizhub PRESS
C1100/C1085



bizhub PRESS
C1070/C1070P/C1060

コニカミノルタ ジャパン株式会社 PPG営業統括部 中部営業部
※2016年4月1日より社名が変更されました(旧社名 コニカミノルタビジネスソリューションズ㈱)

〒460-0008 名古屋市中区栄2-9-15
三井住友海上名古屋しらかわビル11F TEL.052-229-4624(代)

■わが社のダイバーシティ

愛印工組では重点事業の一つとしてCSR・ダイバーシティ委員会を立ち上げ、誰もが安心して活躍できる職場環境づくりに取り組んでいます。本誌では、同委員会に所属する企業から、「わが社のダイバーシティ」と題したレポートを逐次寄稿していただいております。今回は先月号に引き続きプリ・テック㈱の事例を紹介します。

□プリ・テック㈱

高井英和社長 西尾市緑町1-24

【ウォーミングアップ】

□わが社を色で例えると？

【グリーン（本社の建物の外観色）】。色のスペクトルでいえば丁度真ん中の中間色に当り、調和とバランスに係る。心をリラックスさせる効果があり人々の心のバランスが保てる色です。又、色の原色の青と黄の混合色であり、補色は赤で組み合わせによっては強力なインパクトを与える色。（西尾本社の建物の外観がグリーン色）

□わが社を動物で例えると？

【麒麟（本社受付のオブジェが麒麟です）】。伝説上の動物の麒麟です。1,000年を生き平和の象徴であり古代中国ではその姿を見ると吉事につながるとされました。獣類の王と言われていますが性格は優しく穏やか、聖人の現れる前兆として姿を見せると伝えられている縁起の良い神獣です。神聖な生き物とされ「鳳凰」「霊亀」「応竜」と共に「四霊」と称される。このことから幼少から秀でた才を示す子どものことを「麒麟児」や「天上の石麒麟」と称されます。当社も麒麟のように永く安定した企業を目指したいものです。

【わが社のダイバーシティ事例紹介（高齢者）】

タイトル：定年後もやりがいのある職場と仕事

創業して38年を経過すると、従業員の中から60歳になり定年を迎える方が出てくる。今の60歳は若々しく活動的な方が多い。今後60歳以上が当社も増える中でお互いに価値が発揮できる環境づくりが必要とされる。

彼は4年前に60歳となり定年を迎えた。

入社後は営業配属で50歳頃で営業から総務へ異動した。

プリ・テックグループでは各社の総務は女性ばかりのためグループ全体の総務管理を担当、その後に役職定年となり引き続き総務管理に努めた。

この頃より企業のCSR（社会的貢献）が目目され、そして国の政策（助成金・補助金）が多くでてきた時であった。

会社は彼にこの任務もあたえた。

半田中央印刷に「まちおこし推進室」を立上げ「亀崎潮干祭」のお土産品「亀崎串あさり」を地元名産品とした商品化し販売を始めた（今年で7年目、今年はあさがりが不漁で大変貴重な商品となった）。

助成金では厚生労働省のキャリア形成促進助成金を愛知県印刷工業組合と協力しOFF-JTのカリキュラム作りから参加

し、現在の新入社員研修のシステム作りに参加し弊社もこの年より助成金を申請している。

又補助金では「串あさり」の商品化の際の「あいち中小企業応援ファンド補助金」をはじめ、ものづくり補助金、省エネ補助金等で実績を残している。

女性ばかりの総務をまとめ、長年のキャリアを活かしグループ全体の総務・労務関係の課題に取り組み元気に活き活きと活動している。

【社員さんからひとこと】

入社以来、営業一筋でしたがよほどの先見性がない限り、残念ながら営業職は年を取ると役に立たないと実感していた。

50歳頃を機に総務という管理業務に配属となり、最初は何をしたら良いかわからなかったが、労務士・税理士、あるいは弁護士との先生方との仕事（問題解決が多い）や、経営陣と経営方針、利益計画の作成に携わった事が大変勉強になり、今役に立っている。

又「串あさり」は所謂「干もの」あさりの加工・販売です。始めはとても不安でした。その分補助金が採択され、潮干祭で販売した時は、協力してくれた地域のおばちゃん達と喜び合い、お互いに大変な充実感がありました。私の場合は直接の印刷業務ではない特殊なケースだと思います。

高齢になっても自分で「やった！充実感・満足感」を感じるライフスタイルであれば年齢には関係なく、活き活きと元気で働くことができます。このような環境を与えていただいた会社に感謝しています。

【社長さんからひとこと】

私は、高齢者の区分は人それぞれだと考えています。

お金をいただく以上プロであり、高齢者だから男性だから女性だから関係ない事です。但し、人それぞれ強みと弱みがあり、それをお互い補いながらプラスに相乗効果を起こすのがわが社の経営理念でもあり、人としての考え方だと思います。いつまでも情熱をもってやりがいのある仕事をしていけば、75歳まで働けます。笑）



紙でご愛顧70年

印刷用紙専門商社



メイカミ

名古屋紙商事株式会社

社長 鬼頭正二郎

名古屋市東区主税町4-83 〒461-0018

TEL.052-931-2221(代) FAX.052-932-1418

豊山配送センター 愛知県西春日井郡豊山町豊場

TEL. (0568) 39-0501

第8回 ポスターグランプリ作品募集

応募期間は8月21日～9月5日まで

愛知／岐阜／三重／石川／富山の各県印刷工業組合と愛知県印刷協同組合主催による「第8回ポスターグランプリ」の作品応募期日が近づいてきた。

今回のテーマは「with」。

応募期間は、平成29年8月21日(月)～同9月5日(火)17時必着。

応募資格は、愛知、岐阜、三重、石川、富山各県在住、または同5県内の会社、大学(大学院、短期大学を含む)、専門学校、高等学校(高専を含む)に在籍中の個人。

応募部門は、◎一般(プロ・アマ不問)、◎大学生・専門学校生、◎高校生の各部。

応募作品は、未発表の作品1人1点。印刷可能なものに限る(CGまたは手描きによるもの、色彩表現は自由)。

サイズは、◎一般の部：B1判、◎大学生・専門学校生の部：B1判、◎高校生の部：B2判、いずれの作品も縦型、発泡パネル貼仕立て(発泡パネルの厚さ15mm以内)作品画が剥がれないようしっかり貼付けて提出。

出品料は無料。

提出時に、応募用紙に勤務先名または所属学校名、氏名、作品のコンセプト等、必要事項を記入し、応募用紙に記載の案内に従って提出(送付、持込みのいずれでも可)。

入賞・入選発表は、9月下旬。入賞・入選作品は「入賞・入選作品展」で展示する。

グランプリ・中部産業局長賞(最優秀賞)には、賞金10万円(1名)が授与される。その他、優秀賞、特別賞、協賛会社賞などが

用意されている。

【応募問い合わせ先】

○愛知県印刷工業組合内 ポスターグランプリ係／〒461-0001 名古屋市東区泉1-20-12 メディアージュ愛知1階
TEL 052-962-5771 FAX 052-951-0569 / E-mail jimukyoku@ai-in-ko.or.jp

【本件の詳細は】

○愛印エホームページで検索
<http://www.ai-in-ko.or.jp/>

第8回 ポスターグランプリ



「印刷と私」

エッセイ・作文コンテスト 作品募集

一般社団法人日本印刷産業連合会(山田雅義会長)のグリーンプリンティング認定事務局では、第1回「印刷と私」コンテストを実施する。*私にとって大切な印刷製品、*記憶に残る印刷物、*印刷の思い出、など、印刷にまつわるエッセイ・作文を募集する。

□募集要項

【テーマ】「印刷と私」印刷にまつわるエッセイ・作文(※タイトルは自由、必ず付けて応募)。

【応募部門】①一般の部／中学生以上、エッセイ(800字以内)。②小学生の部／小学1年生～6年生、作文(400字以内)。

【授与賞】①一般の部／小山薫堂賞(2編・賞金10万円)、優秀賞(5編・商品券1万円分)。②小学生の部／小山薫堂賞(2編・図書カード3万円分)、優秀賞(5編・図書カード3千円分)。

【応募方法】郵送かEメール、日印産連HP(<https://www.jepi.or.jp/greenprinting/>)より応募。応募用紙は自由。

【応募締切り】2017年9月10日(日)※当日必着

【問合せ先】〒104-0041東京都中央区新富1-16-8日本印刷会館3F(一社)日本印刷産業連合会グリーンプリンティング認定事務局TEL03-3553-6123、mail:contest@jfpj.or.jp

編集だより

■本誌がお手元に届くころは、夏、真っ盛り。すぐに盆休みがあるかと思いますが、皆さんの会社では、山の日の休日を入れて、何日の休みが取れるのでしょうか。休みは長い方がありがたいのですが、くれぐれも熱中症には注意して下さい。

あいちの印刷

No.549

平成29年8月10日発行

発行人 細井俊男

編集 組織・共済委員会

発行所 愛知県印刷工業組合

〒461-0001 名古屋市東区泉一丁目20番12号

メディアージュ愛知1階

TEL (052) 962-5771

FAX (052) 951-0569

◆ホームページアドレス <http://www.ai-in-ko.or.jp/>

◆E-mailアドレス jimukyoku@ai-in-ko.or.jp



美しさ・誠実・挑戦

お客様に企画、デザインを通し、
真の感動を提供出来る様、
常に進化し続ける企業を目指します。

グラフィックデザイン	Graphic design
ウェブデザイン	Web design
セールスプロモーションデザイン	Sales promotion design
エディトリアルデザイン	Editorial design
アドバタイジングデザイン	Advertising design
オンデマンドプリンティング	On-demand printing

adWiSE

株式会社 アドワイズ

〒451-0062 名古屋市西区花の木1-16-18 花の木ハイツ1F

TEL 052・523・1257 FAX 052・523・1258 E-mail: ad-wise@ad-wise.biz

heart

人から人へ心を伝える ハート紙製品



グリーン購入法適合封筒・環境配慮型製品
名刺・封筒・はがき・カード・賞状・カレンダー

デザイン作成・企画提案から印刷・納品までトータルにサポート
官公庁・企業様、ユーザー様など幅広くご利用いただいております

ハート株式会社

URL: www.heart-group.co.jp



インバウンドを
ビジネスチャンスにつなげる。



モリサワは、日本障がい者スポーツ協会を応援しています

インバウンド対応情報発信ツール

MC Catalog+

エムシー カタログ プラス

チラシ、パンフレットなど、あらゆる
コンテンツを多言語化し、スマート
フォンやタブレット端末に向けて、
配信するクラウドサービス。

詳しくは **エムシーカタログ**

www.morisawa.co.jp

●記載されている会社名・商品名はそれぞれ各社の登録商標または商標です。
●本仕様は、予告なく変更する場合があります。

Axuas

私たちは、地球に優しい商品とサービスの提供を通して、
心豊かな社会の実現に貢献します。

次の世代に豊かな地球を残し、
皆様の幸せに貢献する企業でありたい。



紙・包材・LEDの
株式会社

アクアス

本社所在地 〒460-0008 名古屋市中区栄一丁目25番35号

紙営業本部 TEL(052)220-5511 IP電話(050)3533-5511 FAX(052)220-5522

Home Page http://www.axuas.jp E-mail info@axuas.jp



キングは 印刷会社の パートナー

詳しくは

Printing
Supply

封筒用紙・名刺用紙・
ハガキ・包装用資材

Printing
Promotion

カレンダー印刷・名入販促物
(クリアホルダー、ふせん等)

Printing
Support

業務支援アプリ・
営業支援アプリ

Printing
System

名刺作成システム
(ソフト、プリンター、裁断機)



株式会社キングコーポレーション

本社 / 〒460-0002 愛知県名古屋市中区丸の内3丁目7番23号 TEL 052-961-7661 (代)

全国15拠点を
サポート

名古屋本店 / 東京支店 / 大阪支店 / 福岡支店 / 仙台支店 /
さいたま支店 / 横浜支店 / 静岡支店 / 金沢支店 / 神戸支店 /
広島支店 / 鹿児島支店 / 札幌営業所 / 青森営業所 / 浜松営業所

成長へのギアチェンジ

Future **to be** Fact.
未来を事実に変えていく

KOBUNDO

KBD NEW PRODUCTS

フィニッシングソリューション

KBD MOLLシステム

FOLDER/GLUER/INSERTING/TAPING

NEW

ポケットホルダー、封筒、ルームキーカードホルダー、
ボトルパッケージ、小包パッケージ、CDスリーブなど
様々な形状のパッケージの加工が可能に



高速ブランクス検査機

KBD blanks Z

NEW

パッケージ・印刷・POP 複数カメラを搭載した自動高速検査装置



印刷不良、汚れ、キズなどの
不良要素を自動検出
製品の質を高める超高速検査装置

印刷機側設置型 刷り出し・抜取り検査装置

KBD Micro-vision®2

マイクロ・ビジョン2

刷版データとの比較により、刷り出しでの品質チェック
要項をすべて満たした高精度
スタートプレス検査装置



卓上スジ押し／ミシン機

KBD クリストリーム ミニ

NEW

パンフレットが簡単操作でキレイに仕上がる
必要ロットや機能から選べる3グレードのラインナップがあり、
製本工程での時間短縮・コスト削減に大きく貢献します。



印刷機材の総合商社

株式会社 光文堂

本店 / 〒460-0022 名古屋市中区金山三丁目15番18号 TEL 052(331)4111(代)
支社 / 東京 支店 / 東北・静岡・大阪・北九州・福岡 営業所 / 北海道・青森・山形
千葉・山梨・沼津・浜松・岐阜・福井・金沢・富山・京都・山口・大分・熊本・沖縄